

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①専門性を向上させ、キャリア教育を充実させるとともに、共通教科・科目を適切に設置した教育課程を作成する。</p> <p>②商業教育の特長を明確にし、普通科との併置の特性をいかした教育活動を検討し、新校計画につなげる。</p>	<p>①組織的な授業改善を継続し、表現活動の充実と、自発的に考え参加できる授業づくりを目指す。</p> <p>①新型コロナ感染症対策に伴い学習保障のための教材作成に創意工夫を凝らすとともに評価の適正化を図る。</p> <p>②新校に向けて、普通科との併置を踏まえた系・コースや科目の研究をする。</p> <p>②新学習指導要領を踏まえた新校の教育課程の検討を進める。</p>	<p>①生徒が関心を持って取り組める実践的な題材の工夫を行う。</p> <p>①アウトプットの場面(グループワーク、発表、自分の考えや意見を記入するワークシート等)をつくる。</p> <p>①G Suite等を活用したオンライン教材の共有をする。</p> <p>②実績ある普通科との併置校の例を参考に、商業科に設置する専門科目だけでなく、普通科に提供できる専門科目の研究を進め、魅力ある新校づくりを行う。</p>	<p>①生徒による授業評価で「他者との交流により考えを深め、解決方法について考える場面がある」の回答で「当てはまる」が80%以上を達成できたか。</p> <p>①G Suiteを活用した教材を利用した教員が50%以上を達成できたか。</p> <p>②選択コース制の検証により商業科の系を決めることができたか。</p> <p>②新校に向けて、設置する系・コース、科目案を作成できたか。</p>						
2 生徒指導・支援	<p>①社会の一員として行動するための規範意識を高めるとともに、国際的な視野を養いながら社会貢献に対する意識を育む。</p> <p>②生徒一人ひとりの状況に応じた相談体制を強化するとともに、活動を通して主体的に行動できる人材を育成する。</p>	<p>①生徒の社会性や規範意識の向上に向けた指導を充実させる。</p> <p>①全ての生徒会活動を生徒主体で運営できるように支援する。</p> <p>②教育相談体制の充実を目指すとともに生徒に自身の健康に関心を持たせる。</p> <p>②生徒が充実した学校生活が送れるように、部活動の加入率ならびに継続率を上げる。</p> <p>②生徒数減に伴って、部活動補助における特別教育振興費の見直しを行う。</p>	<p>①遅刻について分析し、指導の手立てを考える。</p> <p>①生徒会役員を中心に、生徒同士で話し合う機会を増やすことで他者理解を深め生徒主体の運営をさせる。</p> <p>②生徒情報の共有の場を職員会議等で学期1回程度設ける。</p> <p>②保健指導、教科を通し、感染症について学ばせる。</p> <p>②1年生の部活動の加入率ならびに継続率を上げるために、部活動紹介を効果的に行うことでPRの機会を増やす。</p> <p>②特別教育振興費支出規定を見直す。</p>	<p>①遅刻が続く生徒全員と解決に向けた話し合いができたか。</p> <p>①生徒が主体的に委員会活動や行事を運営できたか。</p> <p>②生徒情報の共有の場を年間3回程度設けられたか。</p> <p>②感染症の知識、予防方法が身についたか。</p> <p>②1年生の部活動の加入率が45%以上、継続率85%以上となったか。</p> <p>②特別教育振興費支出規約の改訂ができたか。</p>						

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3 進路指導・支援	①社会的・職業的に自立させ、即戦力として社会で活躍できる人材を育成する。 ②企業から信頼される実績を積み上げるとともに、進学指導の充実を図る。	①職業理解、上級学校理解を段階的に進め、進路意識を早期段階から持たせる。 ②ガイダンスを充実させ、生徒個々に応じた適切な進路指導を展開する。	①年間を通じた計画的な進路面談、ガイダンスを行う。 ②外部機関や企業、上級学校対応を充実させ、最新の進路情報を生徒に伝達する。	①アンケートの結果、ガイダンス前と後で生徒の進路意識が高まった肯定的回答が80%以上得られた。 ②進路希望調査時と比較して、卒業時点での進路未決定者数を減少させることができた。					
4 地域等との協働	①地域に開かれ、地域と共にある学校を実現する。 ②地域連携部会の意見を取り入れ、実現可能な取組についてスピード感をもって充実させる。	①計画的な広報PR活動及び実践的な教育活動等を通じ、専門高校としての魅力と特色を地域に再認識してもらう。 ②地域交流活動及びPTA活動を推進し、関係諸機関との連携を深め、地域や社会に開かれた学校づくりを目指す。 ③地域と連携して生徒の安全で安心な生活を維持する。	①中学校訪問、学校説明会、個別相談会等を計画的かつ効果的に実施する。 ①広報の対象及び発信内容を明確化したうえでPDC Aサイクルによる広報PR活動を行う。 ②異校種交流、公開講座及びPTAボランティア等の活動を充実させ、地域に教育資源を提供する。 ③産学官連携による外部講師や実習等を実施し、地域の教育力を本校に提供してもらう。 ④防災体制を構築するとともに、DIG、避難訓練等に生徒を積極的に参加させる。	①入学者選抜倍率が1.1倍以上、学校説明会等の参加実績が前年の120%以上となったか。 ①振返アンケートから得た参加者による評価の内容。 ①広報PR計画書に基づく実施状況。 ②出前講座等の新規事業が実施できたか。 ②PTAボランティア参加人数、外部講師活用回数及びチャレンジショップ委員の実働延人数が前年より増えたか。 ②アンケート等により生徒の防災意識の高まりを読み取ることができたか。					
5 学校管理 学校運営	①安全で安心な信頼される学校を維持する。 ②不祥事防止を徹底し、信頼に根ざした学校づくりを推進する。	①校内の環境整備をすすめるとともに、防災体制を充実させる。 ②事故不祥事防止を徹底し、教職員の実践的指導力を向上させる。	①不要物品の廃棄と必要物品の購入をすすめる。 ②日常的な啓発活動や研修会等を通じて、不祥事防止に向けた意識の醸成を図る。	①適正な予算配分のもとに執行することができたか。 ②日常的な啓発活動や研修会等を通じて、不祥事防止を徹底できたか。					